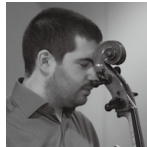




12th OSAKA INTERNATIONAL CHAMBER MUSIC COMPETITION & FESTA

Rules and Regulations

第12回 大阪国際室内楽コンクール&フェスタ
募集要項





WORLD FEDERATION
OF INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITIONS

国際音楽コンクール世界連盟会員

第12回大阪国際室内楽 コンクール & フェスタ

募集要項

音楽は人の心に直接響く世界共通の言葉と言われております。日本室内楽振興財団は、『音楽の原点』と言われる室内楽の素晴らしさを、日本そして世界に向けて発信することを目的に1992年に発足しました。翌年、第1回大阪国際室内楽コンクール&フェスタを開催して以降、3年毎に回を重ねて多くの優れたアンサンブルを輩出してきました。

コンクール部門は、世界の著名な音楽家に審査委員を委嘱し、室内楽に熱心に取り組む若きアンサンブルを広く世界中から募り、その優れた演奏を顕彰するもので、第12回大阪国際室内楽コンクールでは第1部門は「弦楽四重奏」を、第2部門は「ピアノ三重奏」と「ピアノ四重奏」を対象に開催します。

またフェスタ部門ではクラシック音楽に限らず、世界の伝統楽器や民俗音楽も対象とし、楽器や年齢を制限しないことで、室内楽の幅広さと愉しみを聴衆と共有します。

本事業を通して、全てのアンサンブルが不断の努力を経た音楽を披露し、音楽家としての成長を期待すると共に、世界から集う音楽家と聴衆による国際交流の輪が広がることを願っています。

期 間	2026年5月17日〔日〕～24日〔日〕	コンクール
	2026年5月 9日〔土〕～13日〔水〕	フェスタ
主 催	公益財団法人 日本室内楽振興財団	
共 催 (フェスタ1次ラウンド)	公益財団法人 富山県文化振興財団 公益財団法人 三重県文化振興事業団	
後 援	外務省／文化庁／大阪府／大阪市／公益社団法人 日本演奏連盟／ 住友生命いずみホール／関西経済連合会／大阪ビジネスパーク協議会／読売新聞社	
提携協力	Britten Pears Arts／Music in PyeongChang／Quatuors à Bordeaux／ String Quartet Biennale Amsterdam／ Verband der Streichquartette und weiterer Kammermusik-Ensembles VdSQ e.V. & Förderverein Festival4 e.V.	
特別協力	一般社団法人 MK記念会	

本要項の内容は都合により変更する場合があります。変更があった場合は、日本室内楽振興財団のウェブサイトでも更新版を確認できます。
発行期日が最も新しい募集要項に則って、第12回大阪国際室内楽コンクール&フェスタの募集を行います。

組 織



開催委員会

会長	松本	正義	日本室内楽振興財団会長、関西経済連合会会長
副会長	松田	陽三	日本室内楽振興財団理事長、読売テレビ放送社長
コンクール審査委員長	モニカ・ヘンシェル		ヴァイオラ、ヘンシェル・クアルテット
フェスタ特別審査員	呉	信一	トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授
運営本部長	藤門	浩之	日本室内楽振興財団常務理事

顧問

海野	義雄	ヴァイオリン、東京音楽大学客員教授
小川	典子	ピアノ、ギルドホール音楽院教授
栗林	義信	声楽家、日本芸術院会員
高橋	満保子	ヴァイオリン、元神戸女学院大学講師
善積	俊夫	日本クラシック音楽事業協会参与
井上	礼之	ダイキン工業名誉会長
尾崎	裕	大阪ガス相談役
佐藤	義雄	住友生命保険特別顧問
鳥井	信吾	サントリーホールディングス副会長
牧野	明次	岩谷産業会長兼CEO
山口	多賀幸	非破壊検査社長

(50音順)

コンクール名誉顧問

堤	剛	チェロ、サントリー芸術財団代表理事
---	---	-------------------

フェスタ名誉顧問

梅本	俊和	ピアノ、大阪音楽大学名誉教授
----	----	----------------

コンクール専門委員会

入山	功一	日本クラシック音楽事業協会会長
大島	路子	桐朋学園大学キャリア支援センター
中鉢	智博	サントリーホール企画制作部長
渡辺	和	音楽ジャーナリスト

フェスタ専門委員会

呉	信一	トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授
河野	正孝	オーボエ、関西室内楽協会代表
佐藤	恭仁子	読売テレビ放送コンテンツ戦略局イベントビジネスセンター長
福岡	正太	国立民族学博物館副館長
松田	陽	住友生命いづみホール企画営業部長、副支配人

第 12 回 大阪国際室内楽 コンクール

募集要項



コンクール審査委員

- モニカ・ヘンシエル ドイツ／ヴィオラ、ヘンシエル・クアルテット
(審査委員長)
- ウェイガン・リ アメリカ／ヴァイオリン、上海クアルテット
- 澤 和 樹 日本／ヴァイオリン、澤クワルテット
- オリヴァー・ヴァイレ ドイツ／ヴァイオリン、クス・クアルテット
- 元 渕 舞 アメリカ - 日本／ヴィオラ、元ボロメーオ弦楽四重奏団
- アリステル・テイトウ イギリス／チェロ、元ベルチャ・クアルテット
- サンウォン・ヤン 韓国／チェロ、トリオ・オウオン
- 相沢 吏江子 日本 - アメリカ／ピアノ、ホルショフスキ・トリオ
- 野 平 一 郎 日本／ピアノ、東京音楽大学学長



1.1 演奏部門

楽器編成により、次のとおり2区分に分けて運営する。

第1部門 弦楽四重奏(2つのヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)

第2部門 ピアノ三重奏(ピアノ、ヴァイオリン、チェロ)

ピアノ四重奏(ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ) いずれかで応募

1.2 審査ラウンド

審査は、1次ラウンド・2次ラウンド・3次ラウンド(第1部門のみ)・ファイナルラウンドの各ラウンドで行う。

1.3 日程(日程は全て2026年)

受付・説明会(2部門合同)		5月15日[金]
第1部門	1次ラウンド (8団体)	5月17日[日]
	2次ラウンド (8団体)	5月19日[火]
	3次ラウンド (5団体)	5月21日[木]
	ファイナルラウンド (3団体)	5月22日[金]
第2部門	1次ラウンド (8団体)	5月18日[月]
	2次ラウンド (8団体)	5月20日[水]
	ファイナルラウンド (3団体)	5月22日[金]
表彰式		5月22日[金]
披露演奏会	大阪(入賞団体)	5月23日[土]
	東京(第1位受賞団体)	5月24日[日]

1.4 会場

住友生命いずみホール(大阪市)

1.5 著作権

本事業で演奏された音楽の録音・録画、写真撮影、放送・ストリーミングの権利、並びにCD・DVDの製作・販売などに関する諸権利は主催者に帰属する。また、応募時に提出された写真、プロフィール、予備審査の演奏動画は、コンクールの広報活動用に主催者が使用できるものとする。

1.6 その他

- [1]この募集要項に関し発生する問題については、日本語で印刷された募集要項に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。なお、募集要項の内容はやむをえない事情により変更されることがある。
- [2]本事業で収集した応募団体の全メンバーの個人情報、主催者が管理し、本事業の運営のためにのみ使用する。
- [3]本事業の期間中に生じた、参加者の身体的、精神的もしくは物質的な損害および加害に対して、主催者は補償しない。各参加者の責任において保険加入すること。
- [4]本事業のすべての審査演奏は、会場で一般に公開され、ストリーミングで配信される。

2.1 応募資格

国・地域に関係なく1990年5月18日以降に出生した演奏者によって編成される団体が応募できる。

2.2 重複応募

応募団体は、第1部門、第2部門、フェスタのいずれか一つにしか応募できない。

応募団体のメンバーが、他の団体のメンバーとして重複して応募することはできない。

2.3 再応募

過去に当コンクールで優勝した団体が、同じ演奏部門に再度応募することはできない。

2.4 応募方法

大阪国際室内楽コンクール&フェスタ公式ウェブサイト(<https://jcmf.or.jp/competition-festa/>)または(<https://www.muvac.com/competition/japan-chamber-music-foundation-competition>)から、オンライン申込サービス“MUVAC”(www.muvac.com)にアクセスし、必要なデータを入力、または提出する。

申込終了後、MUVACより完了メールが自動配信される。完了メールの受信を確認すること。

全ての情報、資料の提出、2.5に規定された申込料の支払いをもって、応募の完了とする。

[1]団体名、メンバー名、拠点地などの基本情報。(MUVACを参照)

[2]応募団体全員が写っている最近撮影された写真1枚。楽器を持った写真が望ましい。

[3]応募個々人の名前、国籍・地域、生年月日を証明する公式証書のコピー。(パスポート、運転免許証など)

[4]指導者、またはそれに準ずる音楽家の推薦状1通。

[5]団体のプロフィール

[6]応募団体による演奏動画

- 2025年1月以降に収録したもので、録画形式はMP4であること。

- 両部門共通：コンクール1次ラウンドの課題曲[1]から1曲、そして2次ラウンドの課題曲から1曲を選び収録する。

<録画に際した注意>

- 1台の固定カメラで撮影し、団体のメンバー全員が楽器と共に常時明瞭に映っていること。

- 1曲ごとに録画して構わないが、各曲は全楽章をワンテイクで通して演奏収録する。

- 録画する部屋や撮影用カメラやマイクなど、国際音楽コンクールの応募に相応しいレベルの録画を心がけること。録画の品質によっては、予備審査の対象にならない場合があります。

- カメラに音量を自動で調整する機能が付いている場合は、設定をオフにして録画する。

- 撮影した録画は編集や、音質を高めるような、いかなる加工もしてはならない。

- 提出する際には、ファイル名は「団体名_演奏曲目」とすること。

2.5 申込料

コンクールに応募する団体は、MUVACで申込料として20,000円を支払う。

2.6 受付期間

2025年4月1日(火)～10月12日(日) ※日本標準時(JST)10月12日23:59でMUVACを停止します(JST=GMT+9)。

3.1 予備審査

予備審査は、応募資料及び演奏動画に基づいて行われる。
審査結果は、2025年12月31日(水)までにすべての応募団体にEメールで連絡される。

3.2 参加承認

参加承認団体には、参加に関する詳細な内容を記載した「参加要項」を送付する。
参加承認後にメンバーの変更が生じた場合は、原則としてその団体は参加資格を失う。
参加承認後はコンクール審査委員から指導を受けてはならない。

3.3 到着確認

参加団体は指定された日時・場所で参加者受付を行い、説明会に参加する。
指定の時刻までに受付を行わない団体は、原則として参加資格を失う。

3.4 練習場

5月16日から参加期間中の出演日以外は、練習場を1日3時間無償で提供する。
主催者によって提供される練習場は、参加団体が時間・部屋を選択することは出来ない。
コンクール出演日は、演奏前にホールのリハーサル室を短時間利用できる。

3.5 演奏順

1次ラウンドの演奏順は、説明会で抽選を行い決定する。
2次ラウンド以降の演奏順は、所定の方式に従い決定する。

3.6 使用する楽器

すべての楽器は参加者が用意する。ただし、主催者は第2部門参加団体のためにコンサートグランドピアノ（ピッチは442Hz）を用意する。

3.7 演奏曲

応募団体は、10、11、12ページの指定の課題曲の中から選択する。
出版社名の記載のある課題曲を選択する場合は、その楽譜を使用しなければならない。

3.8 審査

審査は、別に定める審査規定に基づいて、主催者より委嘱されたコンクール審査委員によって行われる。
審査結果については、いかなる者も異議不服を申し立てることができない。

3.9 結果発表

審査結果は、当日の全演奏が終了後、会場で発表される。

4.1 賞金

コンクール第1部門、第2部門各々の優秀団体に次の賞が授与される。

第1位:賞金 250万円 表彰状

第2位:賞金 120万円 表彰状

第3位:賞金 80万円 表彰状

【特別賞】

●ブリテン・ピアーズ・アーツ賞

本特別賞を受賞した団体は、ブリテン・ピアーズ・アーツが2027/2028年シーズンにイギリスで開催するブリテン・ピアーズ・ヤングアーティスト・プログラムに参加する。

BRITTENPEARS
ARTS

●ミュージック・イン・平昌賞

本特別賞を受賞した団体は、2027年に開催されるミュージック・イン・平昌に参加する。

대관령음악제
Music in
PyeongChang

●ボルドー弦楽四重奏フェスティバル賞

第1部門に参加している弦楽四重奏から1団体に授与される。受賞した団体は、2027年5月に開催される「ボルドー弦楽四重奏フェスティバル」に参加して、マスタークラスの受講やコンサートへ出演する。

BORDEAUX INTERNATIONAL
COMPETITION AND FESTIVAL
VIBRE!
String Quartets

●ストリング・クァルテット・ビエンナーレ・アムステルダム賞

第1部門で第1位を受賞した弦楽四重奏は、2028年1月にアムステルダムで開催される「ストリング・クァルテット・ビエンナーレ・アムステルダム」に出演する。

String Quartet
Biennale
Amsterdam

●第12回大阪国際室内楽コンクール アンバサダー賞

コンクールに参加している団体から1団体に授与される。受賞した団体は、VdSQ & Festival4 (www.vdsq.de)が2028年に開催する室内楽フェスティバルに、本コンクールのアンバサダーとして出演する。

STREICHQUARTETT BIENNALE
VDSQ & FESTIVAL4
INTERNATIONAL
CHAMBER MUSIC

この賞はVdSQの会長により授与される。

※MK記念会特別協力

特別賞を受賞して上記の特別賞のフェスティバル、プログラムに参加する団体には、一般社団法人MK記念会からの寄付金を財源として、交通費の一部を補助する。

4.2 税金

上記の賞金額は、日本円で支払われ、日本の税法に基づく税金を含むものとする。

4.3 披露演奏会

[1]各部門入賞団体は、5月23日(土)住友生命いずみホールで開催する披露演奏会(大阪)に無料で出演しなければならない。

[2]各部門の第1位受賞団体は、5月24日(日)サントリーホールで開催する披露演奏会(東京)に無料で出演しなければならない。大阪-東京間の旅費と宿泊費は、主催者が負担する。

会場:サントリーホール ブルーローズ(東京都港区)

4.4 演奏ツアー

各部門の第1位受賞団体は、日本国内の約10都市で開催される演奏会ツアー(「グランプリ・コンサート」と言う)に下記年月に招聘される。本コンサートの演奏料は支払われる。

第1部門 第1位団体 2026年10月後半 -11月

第2部門 第1位団体 2027年10月後半 -11月

※該当期間に既に予定がある場合、応募時に必ず申告すること。

4.5 コンクール後のメンバー変更

第12回大阪国際室内楽コンクール入賞後にメンバー変更が生じた場合、「グランプリ・コンサート」や各特別賞による参加権利を失う場合がある。

5.1 交通費

参加者の交通費は原則本人負担であるが、主催者は、参加者の交通費を次の規準で負担する。

5.2 国外に在住する参加者

居住地の最寄りの国際空港から、関西国際空港または大阪国際空港までのエコノミー往復航空券について、出場メンバー全員分とチェロ1席分を主催者が提供する。

ただし、参加者は、主催者が指定する航空機で、来日・帰国しなければならない。チェロ以外の楽器の運搬費は参加者負担とする。

5.3 国内に在住する参加者

国内の遠隔地(コンクール会場から300キロ以上の居住地)からの参加者については、一人につき2万円を補助する。

* 上記補助額には、日本の税法に基づく税金が含まれる。

5.4 宿泊費

主催者は、すべての参加者の宿泊費用を次の期間負担する。ただし、主催者が指定した宿舎に限る。その他、参加者の滞在に必要な費用(飲食費、交通費、通信費他)はすべて本人負担とする。

[1] ファイナルラウンドに進めなかった団体	5月15日から5月23日の朝まで
[2] ファイナルラウンドに進んだ団体	5月15日から5月24日の朝まで
[3] 第1位受賞団体	5月15日から5月25日の朝まで

問い合わせ

公益財団法人 日本室内楽振興財団

〒540-8510 大阪市中央区城見1-3-50 TEL.06-6947-2184 FAX.06-6947-2198

E-Mail: osaka-comp@jcmf.or.jp

※Gmailなどを中心に、「@jcmf.or.jp」ドメインからのEメールが迷惑メールフォルダに入る、又は届かないケースが発生しています。

応募の際には「@jcmf.or.jp」からのEメールを受信できるように、お使いのEメールアドレスの設定をお願いします。

1次ラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。 ※予備審査と同じ曲でも可

- F. J. ハイドン: 弦楽四重奏曲 作品33、42、50、54、55、64、71、74、76、77
L. v. ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 作品18(第1番～第6番のいずれか1曲)(Bärenreiter、Henle)

[2]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- A. ベルク: 弦楽四重奏曲 作品3
A. ウェーベルン: 弦楽四重奏のための5つの楽章 作品5
G. クルターグ: 弦楽四重奏曲 作品1

2次ラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。演奏時間は概ね60分以内とする。(60分に満たない選曲も可。)

※予備審査と同じ曲でも可

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- F. シューベルト: 弦楽四重奏曲 第13番 D804、第14番 D810 (Bärenreiter)
F. メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲 第3番 作品44-1、第4番 作品44-2、第5番 作品44-3
R. シューマン: 弦楽四重奏曲 第1番 作品41-1、第2番 作品41-2、第3番 作品41-3
J. ブラームス: 弦楽四重奏曲 第1番 作品51-1、第2番 作品51-2、第3番 作品67
A. ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲 第13番 作品106、第14番 作品105
B. スメタナ: 弦楽四重奏曲 第1番
C. ドビュッシー: 弦楽四重奏曲 作品10
G. フォーレ: 弦楽四重奏曲 作品121
M. ラヴェル: 弦楽四重奏曲
D. ショスタコーヴィチ: 弦楽四重奏曲 第9番 作品117、第10番 作品118、第11番 作品122、第12番 作品133
F. スウェイン: 弦楽四重奏曲 第1番

[2]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- B. バルトーク: 弦楽四重奏曲 第4番 Sz. 91、第5番 Sz. 102
A. シェーンベルク: 弦楽四重奏曲 第3番 作品30、第4番 作品37
A. ベルク: 「抒情組曲」
B. プリテン: 弦楽四重奏曲 第2番 作品36
H. デュティユー: 「夜はかくの如し」
G. リゲティ: 弦楽四重奏曲 第1番、第2番
I. クセナキス: 「テトラス」
E. カーター: 弦楽四重奏曲 第2番、第5番
T. アデス: 「アルカディアーナ」、「4つの四重奏曲」
M. トロヤーン: 弦楽四重奏曲 第3番、第4番、第5番
武満 徹: 「ア・ウェイ・ア・ローン」
西村 朗: 弦楽四重奏曲 第6番
細川 俊夫: 「沈黙の花」
湯浅 譲二: 「弦楽四重奏のためのプロジェクト II」

3次ラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。演奏時間は概ね60分以内とする。

[1]酒井 健治: 委嘱新作

※スコアと演奏用パート譜は、2026年2月末までにコンクール参加団体に送られる。 ※作品の演奏時間は15分以内となる予定。

[2]参加団体の任意の弦楽四重奏曲

※複数の楽曲を演奏することも出来るが、楽章抜粋は認めない。 ※他のラウンドで演奏する楽曲は演奏できない。
※弦楽四重奏作品以外からの編曲の楽曲は演奏できない。 ※参加団体は主催者からスコアの提出を求められることがある。

ファイナルラウンド

次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- L. v. ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第12番 作品127、第13番 作品130、第14番 作品131、第15番 作品132 (Bärenreiter、Henle) ※第13番 作品130の終楽章は、大フーガ 作品133へ変更しても可。

- F. シューベルト: 弦楽四重奏曲 第15番 卜長調 D887 (Bärenreiter)

※参加団体が3次ラウンドでベートーヴェンの楽曲(作品59、74、95、127、130、131、132)を演奏していない場合、シューベルトは選択できない。

ピアノ三重奏

1次ラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

※予備審査と同じ曲でも可

- F. J. ハイデン: ピアノ三重奏曲 Hob. XV-24、25、26、27、28、29
 W. A. モーツァルト: ピアノ三重奏曲 K. 496、502、542、548、564
 L. v. ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲 第1番 作品1-1、第2番 作品1-2、第3番 作品1-3

[2]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- 細川 俊夫: 「トリオ」(2013年、〈2017年改訂〉)(Schott Japan)
 W. リーム: 「見知らぬ土地の情景」I又はIII(1982-1984)
 M. カーゲル: ピアノ三重奏曲第1番、第2番、第3番
 J. ハービゾン: ピアノ三重奏曲第2番

2次ラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

※予備審査と同じ曲でも可

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- J. ブラームス: ピアノ三重奏曲 第1番 作品8(1889年改訂版)、第2番 作品87、第3番 作品101
 F. メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲 第1番 作品49、第2番 作品66
 R. シューマン: ピアノ三重奏曲 第1番 作品63、第2番 作品80、第3番 作品110
 A. ドヴォルザーク: ピアノ三重奏曲 第3番 作品65、第4番 作品90
 B. スメタナ: ピアノ三重奏曲 作品15
 G. フォーレ: ピアノ三重奏曲 作品120
 M. ラヴェル: ピアノ三重奏曲
 E. ショーソン: ピアノ三重奏曲 作品3
 A. アレンスキー: ピアノ三重奏曲 第1番 作品32

[2]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- C. アイヴス: ピアノ三重奏曲(1910)
 D. ショスタコーヴィチ: ピアノ三重奏曲 第2番 作品67(1947)
 Y. ヘラー: 「白昼夢」(1994)(Boosy & Hawkes)
 M. ワインベルク: ピアノ三重奏曲 作品24(1945)
 B. マルティヌー: ピアノ三重奏曲 第2番(1950)、第3番(1951)
 R. クラーク: ピアノ三重奏曲(1921)

ファイナルラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- F. シューベルト: ピアノ三重奏曲 第1番 D898、第2番 D929
 ※参加団体は第2番の終楽章において、任意でカット無し版を演奏することが出来る。

[2]次の日本人作曲家の作品を演奏する。

- 武満 徹: 「ビトウィーン・タイズ」(1993)(Schott Japan)

ピアノ四重奏**1次ラウンド**

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

※予備審査と同じ曲でも可

W. A. モーツァルト: ピアノ四重奏曲 第1番 K. 478、第2番 K. 493

L. v. ベートーヴェン: ピアノ四重奏曲 作品16

[2]次の作品を演奏する。

A. シュニトケ: ピアノ四重奏曲

2次ラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

※予備審査と同じ曲でも可

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

R. シューマン: ピアノ四重奏曲 作品47

R. シュトラウス: ピアノ四重奏曲 作品13

A. ドヴォルザーク: ピアノ四重奏曲 作品87

G. フォーレ: ピアノ四重奏曲 第1番 作品15、第2番 作品45

C. サン＝サーンス: ピアノ四重奏曲 作品41

E. ショーソン: ピアノ四重奏曲 作品30

W. ウォルトン: ピアノ四重奏曲

F. スウェイン: ピアノ四重奏曲

[2]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

G. エネスコ: ピアノ四重奏曲 第1番 作品16(1909)、第2番 作品30(1944)

A. コープランド: ピアノ四重奏曲(1950)

C. ローテン: ピアノ四重奏曲 作品42(1992)(Editions Musica-nova)

S. スタッキー: ピアノ四重奏曲(2005)(Theodore Presser)

F. ドナトーニ: 「ロンダ」(1983)

ファイナルラウンド

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

J. ブラームス: ピアノ四重奏曲 第1番 作品25、第2番 作品26、第3番 作品60

[2]次の作曲家の作品を演奏する。

細川 俊夫: 「レテの水」(2015)(Schott Japan)

コンクール2023 2023年	第1部門 第1位	カルテット・インダコ(イタリア)	
	第2部門 第1位	カピバラ・ピアノ・カルテット(ドイツ)	
第9回 2017年	第1部門 第1位	アイズリ・カルテット(アメリカ)	
	第2部門 第1位	クワチュオール・ザイール(フランス)	
第8回 2014年	第1部門 第1位	アルカディア・カルテット(ルーマニア)	
	第2部門 第1位	トリオ・ラファール(スイス)	
第7回 2011年	第1部門 第1位	アタッカ・カルテット(アメリカ)	
	第2部門 第1位	モーフィン・カルテット(フランス)	
第6回 2008年	第1部門 第1位	ドーリック弦楽四重奏団(イギリス)	
	第2部門 第1位	ダリ・ピアノトリオ(フランス)	
第5回 2005年	第1部門 第1位	ベネヴィッツ・カルテット(チェコ)	
	第2部門 第1位	ハバネラ・サクソフォン四重奏団(フランス)	
	第1位	RNO木管五重奏団(ロシア)	
第4回 2002年	第1部門 第1位	タンク・ストリーム・カルテット(オーストラリア)	
	第2部門 第1位	ジュピター・トリオ(アメリカ)	
第3回 1999年	第1部門 第1位	ベルチャ・カルテット(イギリス)	
	第2部門 第1位	エルサレム・トリオ(イスラエル)	
第2回 1996年	第1部門 第1位	ヘンシェル・カルテット(ドイツ)	
	第2部門 第1位	イーゾン・アンサンブル・ヴィエンナ(オーストリア)	
	第1位	リゲティ・ストリング・トリオ(フランス)	
第1回 1993年	第1部門 第1位	オルフェウス・カルテット(ドイツ)	
	第2部門 第1位	トリオ・ジャン・ポール(ドイツ)	
	第1位	デロス・クインテット(ドイツ)	

BRITTEN PEARS
ARTS

Britten Pears Young Artist Programme

Since 2004

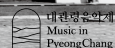
Music in PyeongChang

Classical music meets fresh air in the mountains

Experience the perfect harmony of crisp mountain air
and beautiful classical melodies.

Discover the finest classical music
in the pristine nature of PyeongChang, South Korea.

mpyc.kr



String Quartet Biennale Amsterdam

The world's
largest string
quartet festival

save the dates

24.01 — 31.01.26
29.01 — 05.02.28

SQBA.NL

Building Strong Foundations for a Long Journey

Winning a competition is just the beginning. The Osaka International Chamber Music Competition and VdSQ & Festival4 create lasting structures to help exceptional ensembles thrive beyond their prize. Even the greatest talents need strong partners to succeed.

Chamber Music as a Cultural Ambassador

For decades, chamber music ensembles have been powerful ambassadors of values and vision worldwide. Supporting VdSQ & Festival4 means investing in artists who bring musical excellence and cultural diplomacy to global audiences.

Join Us in Shaping the Future of Chamber Music!

Become a sponsor and be part of this inspiring journey. Discover how you can contribute and contact us at m.henschel@vdsq.de

vdsq.de



Quatuors à Bordeaux and Opéra National de Bordeaux present



11TH BORDEAUX INTERNATIONAL COMPETITION AND FESTIVAL

VIBRE ! 17/05 > 25/05/2025

String Quartets

Artistic direction Modigliani Quartet

vibrefestival.com

Follow the competition live on theviolinchannel.com



The 12th Osaka International Chamber Music Competition & Festa

第12回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ



JAPAN CHAMBER MUSIC FOUNDATION
公益財団法人 日本室内楽振興財団

コンクール & フェスタ2026の最新情報は、こちらから確認できます。
<http://www.jcmf.or.jp/competition-festa/>



You can check the update of the Competition
and Festa 2026 on our website.
<http://www.jcmf.or.jp/competition-festa/en>

